

～親から子、子から孫へ～

「親子で歌いつごう 日本の歌百選」コンサート開催



文化庁・社団法人日本PTA全国協議会で実施した「～親から子、子から孫へ～ 親子で歌いつごう 日本の歌百選」の結果発表コンサートが、1月14日(日)新国立劇場で優秀エピソード応募者への表彰とあわせて開催されました。

会場には、小さいお子さんから祖父母世代の方まで幅広い年齢層の方が多数来場し、会場は満席となりました。

第一部では、近藤信司文化庁長官による主催者あいさつの後、「親子で歌いつごう 日本の歌百選」の結果発表、選考委員による講評と優秀エピソード応募者への表彰が行われました。

第二部では、NHKアナウンサーの古屋和雄さんと女優の紺野美沙子さんが司会を務め、由紀さおりさん、安田祥子さん、夏川りみさん、サーカス、中鉢聡さんらが百選に選ばれた曲の一部を披露しました。

由紀さおりさん、安田祥子さんが『風』『からたちの花』『里の秋』など、夏川りみさんが『涙そうそう』『みかんの花咲く丘』など、中鉢聡さんは『荒城の月』『夏は来ぬ』など、サーカスは『上を向いて歩こう』『翼をください』などを披露しました。優秀賞を受賞したエピソードも歌の前にあわせて紹介され、歌と家族のつながりをあらためて感じさせるものとなりました。

選考委員会の伊藤京子委員長(社団法人日本演奏連盟理事長)と由紀さおりさん、安田祥子さんのトークコーナーでは、伊藤委員長が河合隼雄前文化庁長官が『七つの子』の「かわいい、かわいい」という歌詞をご自身の名前とかけてよくフルートで吹いていた話などを披露すると、観



発表ボードを前に感想を述べる出演者：(左から)紺野美沙子さん、古屋和雄アナウンサー、中鉢聡さん、夏川りみさん、由紀さおりさん、安田祥子さん、サーカス

客からは笑いがおこり、会場は和やかな雰囲気になりました。

また、祖父母世代、父母世代、子ども世代の三世代合唱団(NHK東京児童合唱団、野バラ会、もみじ合唱団)が各世代ごとにお母さんにまつわる歌(『おかあさん』『こんにちは赤ちゃん』『かあさんの歌])を歌いました。

最後は出演者全員で、エピソード大賞に輝いた『浜辺の歌』を歌い、コンサートは温かい拍手と感動の中、幕を閉じました。

観覧者へのアンケートでは、「懐かしい歌ばかりで、自然に涙が出た」「日本の歌が素晴らしいことを感じた」「このようによい日本の歌をいつまでも残したい」などの感想が多くありました。また、コンサートについて「大変良かった」「良かった」という感想が9割以上を占める等、コンサートは好評の中、終了しました。

なお、本コンサートの模様は、3月21日(水・祝)11:00～11:54に、NHK衛星放送第2で放送予定です。ぜひご覧ください。

(文化庁芸術文化課)